

【刊夕】日一月五



原五稅郵 錢十五月一 錢貳金部一 報
錢十五行一語字三十號五 料告廣
治文崎川人刷印人輯編筆行發
五三町橋長町平郡城石縣鳥福
番〇三六話電 社開新日每警常 所行發
社會式株刷印日每警常 所刷印

花祭りと釋尊傳

桐原英純

(十三)

それから成道第卅七年から以後の八年間が法華涅槃時であり、二經合して八年とは申せ、涅槃經は佛御入城前一日一夜の説法でありますから事實は法華經に八年を費されてゐる勘定となり、近頃の人は法華經廿八品を通讀するだけにさへあくびをしますが非風の佛の八年間の結晶を淺智の凡人が半日や一日で棒讀みにして意味が分らぬといふのは分らぬのが當り前であり、天臺宗では佛一代の御説法を斯やうに五時に判釋いたします、この内には淨土教正依の經典たる淨土三部經の説時が見えませぬけれ共、觀無量壽經の内には靈山會上の會座を没して王舎城の宮中に現はれ給ひ、偉提希夫人を攝化せられてゐることになつてゐますから、當然法華經の御説法と同じ時代と推察せられます

▽二大悲劇

釋尊の御一代には大小か

ずくの事件が持ち上りましたけれ共、何といつても成道第卅七年に王舎城に起つた悲劇と同じく四十二年目に釋尊の故國迦毘羅城が滅亡したといふ前後の出來事は佛御一代中の大きな波紋の双壁でありました、詳しく申せば限りもありませんが、王舎城の悲劇といふのは提婆達多の分立について、その教唆により佛の歸依者たりし頻婆沙羅王が一子阿闍世のために獄死し王妃提提希夫人また我が子のために投獄せられて、この釋尊の化導に救濟せらるゝといふのでありまして、この悲劇が中心となつて生み出されたものが觀無量壽經であり、それを正個として立つてゐるのが本朝の淨土宗であります、觀無量壽とは佛を見ることの教へであります、佛を如實に拜し得るなら成るほど救はるゝ譯であります、成道第四十年にいたりて舍衛成に内亂が起り、それが原因となつて釋尊の故國迦毘羅城はとうとう滅亡いたしました、釋迦族に恨みを含む波斯匿王の一子瑠璃太子が王位を奪ひ、復讐の大軍を率ひて

移轉致しました

リヨ日一月五

めたの張擴舗店

(跡館旅住福元)り通大町田町平

ハシモトヤ糸店

げやみ平
玉子ケーキ
十ヶ入金十錢

本品の特長

- 一、本品は卵及び蜂蜜を多量含入製造したるものにして滋養豊富にて實に本品三ヶで卵一個の効力を有す
- 一、日数を經るも軟かにして變味の憂ひ絶對なく子供、老人、病人、辨當代用、進物用として最も適す
- 一、最新式機にて製造し大量製産なるが故に價格低廉なり

平町三丁目

製造發賣元 **たけや茶店**

磐城土産
鯉節と
鹽から
配達敏速

魚問屋
最優最 志賀平 大代理 日理盛 本店 榮三 命生 榮三

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎巡 回文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五二三番

貸切の御用命は

皆様のタクシー！それは乗心地に
ナンバーワンのイワキタクシー
駅前 **イワキタクシー**
電話五六九番



品質縣下第一

二斗樽詰 一本 二五、〇〇
量 賣 一升 一、四〇〇

特約店 **永山酒店**

平町田町 電話二〇七番

二萬枚のピラを 郡内にまく

けふの道路愛護デー 學校では校長が訓話

平土木監督所にては既記の如く今日の道愛護デーに所員が六臺の自動車に分乗し郡内を駆け廻つて二萬枚のピラを撒き一方郡内各小學校では校長から児童に對して道長の大切な点に就いての講話があつた因に本縣知事の是れが告諭は左記の如くである

道は吾々の實生活に於て最も價値の多いものでまた地方の開発産業の發展には極めて重大なる關係を有して居るのであります、縣では之が

改良發達

と維持保全とについては出来る力を盡して居りましたが、今や本縣の國道及府縣道の延長は合せて一千三十餘里に達して居るので限りある人員と經費とを以て其完全を期することは實に困難の業であります、之が爲には必ずや地元市町村住民のどうろに對する熱烈なる愛護の精神に基き

其の協力

に俟たなければならぬのであります、願ふに地元住民が關係どうろを愛護して其の維持保全に協力することは實に社會奉仕の美風であり而かも亦古來の良俗ではありまして

が近時どうろの保全は一に管理者の爲す處のみに依頼して地元の人々は一向に之を顧みない傾向があるのは誠に遺憾に堪へないのであります、謂ふまでもなくどうろの恩澤は

地元住民

の浴する處最も多いのでありますから常に之が保全を念として恰も自己の工作物に對すると同じ様な氣持で之を愛護し其機能を増進することに努められたいのであります、今かい發布されたどうろ愛護獎勵規程も此の趣旨に基き縣内各ろ線を通して夫々どうろ

愛護組合

を設け地元住民の奉仕的努力によつて管理者としての縣の施設と相俟てどうろの完備を期することを目的とするのであります、どうか縣民諸子もよく此の趣旨を諒とせられ益々どうろ愛護の良風を作興して本規程所期の目的の達成に努められむことを望む次第であります

相も變らず

不振を持續

石城の炭礦界
常警炭礦界は鐵道納炭の値下げに伴なつて昨年六から

若干の好轉を示してゐたものが相も變らぬ不振を持續するものと豫想されてゐるこの結果は各炭礦とも機械化による合理經營を行ひこれが補助しようとしてゐるが結局は事業の縮少を行ふ外なく右炭礦中の某炭礦では既に従業員二十餘名の減首事務員の俸給二割の値下をいち早くも決行した

平署管内の 合格看護婦

今かい本縣にて執行した看護婦試験合格者の内平署管内のもの左の如し

- 佐藤サダヨ、後藤ヨネ、中根サダ子、山村ユウ、木田キミ、北崎タケヨ、富田シツエ、小沼サツキ、鈴木豊子、田中千代子、佐川ヒデ、鈴木ミツ、大和田アサノ、小松キク、川上ノブ、武藤ハナヨ、相原トキ子、小林タマ子、鈴木キヨ、長岡サク、鈴木ヤス、鈴木ツネ、若横セイ、吉澤ナホ、渡邊フサ、松崎尾竹子、齊藤信大、大賀輝子、遠藤イチ、兒玉フサ、大木千代子、芳賀スミ、阿久津シツ子、大和田時子

紫雲英の種

植田に販賣組合

これまで肥料として栽培してゐた紫雲英の種は他縣から購入してゐたが植田町農會ではこの種を生産販賣する計畫を樹て獎勵の結果今回佐藤、岩間、田三部落が組合を組織し組合員三十

今日の話

寶丹の守田治兵衛翁が若い頃同志二三人と上海に渡り藥の行商をしてゐたときのことである、各自八圓づゝ出し合つて支那人ボーイを雇ひ、賄ひその他をさせた

「あの小鳥は何處から買つて來るのだ」
「買ふのではない、捕つて來るんです」
「何處で捕るんだ」
「裏の島で」
「網で捕るのか鐵砲で捕るのか」
「棒で捕る、手で捕ることもある」
この奇抜な答へに一同??となつて裏の島に出て見た、ところが小鳥などは一羽もゐない、支那人ボーイの捕るのには蛙だつた、一同すつかり胸を悪くしてしまつた。

平町人事

出生

△久保町二三 菊田長五郎氏三女 マツ子 四女タケ子

滿鮮土産談

川崎小鳥

支那藝妓一行の演幕の間は、頭の中が引ッ掻き廻されて、滅茶々々になり客同志が、お互ひに話も何も出來なかつた、そして立ち

き荒んで居る
◇僕の渡滿した折は、國內に、戦亂はなかつたが、夫れは極寒中の爲めであつて、あちらの人の話しを聞けば「又暖かになると始りますよ」と云つて居た、實に奇妙不可思議な國である
◇成程、暖くなつた昨今の支那の勢は、五月五日の國民會議を前にして、大總統の印授を結ぶべき、蔣介石に對する全國的の反抗運動が、漸次擴大しつゝ、ある形勢の動きが見える、これを動機に。また一騒動持

ち上るかも知れない、支那の國民にして見れば、實に心配な譯だ
◇而し滿州に住む支那人は、安心の枕を高くして寝る事が出来る、我國の守備を有する爲めに、今迄の戦亂にも、一回も戰禍を蒙らずに済んだからである、即ち我國の恩恵に依つて、彼等の生命と財産は安固たる得るのである、故に、滿州の中でも、心ある者は日本側に非常な感謝を示し、且つ好意を有して居る

子宮病血の道の方は左記の良薬をお用
えになればラクに自宅で退治出來ます



宮温湯
腰部をアタ、メ
子宮病を治す
美神湯
服薬血の道薬

一手特約店 阿康藥舖
平町古鍛冶町
電話四四番

生徒募集

和服一般、小供洋服
婦人洋服、小笠原流禮法
手藝池ノ坊生花ハ御希望ニヨリ
授致シマス

昭和六年四月

平町警察署前

阿部裁縫塾

短軀童顏の

「米山小僧」捕る

十歳頃から手癖が悪く
未だ改心せず

卅日午後八時頃平町白銀町
福住旅館に茨城縣多賀郡日
立町二丁目緑川義男(一七)と
宿帳に記せる投宿客あつた
が平署員は子供の獨り旅を
不審に思ひ

取調 へた處右は一見
十歳位に見える短軀童顏の
者だが實は空巢ねらひ専門
の不良兒東白河郡近津村矢
月宇米山生れ菊地政雄(一八)
假名にて既に十歳頃から賊
を働き「米山小僧」の

異名をとつた程で中
村薰陶園、埼玉縣武藏野學
園等に收容されたが改心せ
ず本年四月茨城縣多賀郡東
館村東館郵便局裏口から忍
入り現金三圓同月二十八日
多賀郡助川町ゆう便局隣の
魚屋の

店頭で 二圓五十錢、
同月廿九日は高萩警察署隣
荒物屋の店内で二十六圓在
中の手提金庫を盗み其金で
服装を整へ二十九日前記福
住旅館に投宿した事發覺餘
罪ある見込みで引續き平署
刑事が取調中

山間部に

桑皮を奨励

製紙業を復活
石城郡山間部地方は地理的
關係から種々の副業を行つ

によつて再び「」方の製紙
業はさかんとするものと観
られてゐる

平署管内

自動車検査

十二日から
平署管内自動車車體検査は
五月十三日より十七日迄八
幡小じ舊警中グラウンドに
於いて行ふと

入山炭礦体育

石城
郡湯本町入山炭礦會社では
五月二十日午前八時から入
山グラウンドで全従業員
春季運動會を催す筈

移動映畫館

街診

リヤカーの上に
乗せて轆き廻る

ルンペン群が窮餘の一策に
案じた職業の街頭進出珍風
景の一つを紹介するそれは
街頭

活動寫眞

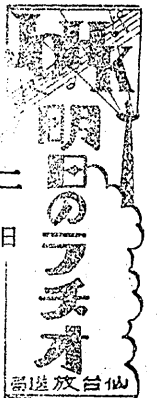
である不
景氣から減首された元石城
郡磐崎村常設館の辯士木之
崎義雄(三〇)假名はどことあ
りつく職業もなく僅の解雇
手當を資本にリヤカーに小
さい活動寫眞映寫器をすえ
つけ町から町へと流れて幼
いお客を集めてゐる五人以
上のお客があれば

日露戦争

と時代劇
特作チャンバラ劇を見せる
小供は喜んでカーテンにも
ぐり込む入場料はフィルム
二十尺につき一錢なりであ
る、義雄さん曰く「何にも

事情を講演

十三日會主催
平十三日會主催にて數年間
フライリッピン・ドバオに活
躍中なる磐中十九回卒業四



明日のラジオ

今晩は南西の風
雨氣あるも明日
は天候良き見込
み

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間)
お話し「舟の行方」本山
桂川
- 後六、三〇 英語講座「初
等科」八八 岡倉由三郎
- 後七、〇〇 全國ニュース
河北新報社 ニュース 氣
象通報 告知事項 番組豫
告
- 後七、二五 運動講座「投
手及び打者としての體驗
を語る」宮武三郎
- 後八、〇〇 浪花節「佐倉
倉昌勝氏を招き五月三日午
後七時よりマルトモ樓上に
て「フライリッピンの事情」
の講演會を開催し一般の聴
講を歓迎すると

明日の部

- 前六、三〇 ラヂオ体操
前九、〇〇 氣象通報
前九、一〇 料理献立「豚
と此程平署に願出た
- 義民傳(宗五郎子別れ)
京山圓洲
- 後八、三〇 常磐津「花舞
臺霞の猿曳」(うづは) 淨
瑠璃 常磐津勝孝其他
- 後八、五五 映畫物語「戦
ふ隊商」石野馬城
- 後九、四〇 時報 全國ニ
ユース 氣象通報 番組豫
告 告知事項

平保護者會

役員を改選
平町の小學兒童父兄から成
る保護者會では廿八日午後
四時平第三小學校内で總會
を開き役員改選の結果會長
に永山和平、副會長に井上
貞次郎氏當選した

X會の繪畫

展覽會開催
磐城中學校に於て来る五日
午前八時より運動會開催す
べきは既記の如くであるが
當日は校舎内には卅六回X
會展覽會並に郡内小學校兒
童作品展覽會を催す由

亭主の送金

妻から説諭願
南會津郡檜澤村大字高野字
立屋澤八〇〇、星フエノは
數年前夫徳次に家出され二
兒を抱いて生活に追はれな
がら夫の行衛を尋ねて居た
が最近夫は石城郡湯本町入
山炭礦の芳野四郎方に働い
てると聞込み送金する様に

四ヶ村聯合

青年運動會
石城郡第五區聯合青年團澤
渡、三坂、永戸、箕輪では
五月三日午前九時から澤渡
尋常高等小學校庭で運動會
を行ふと

平町に狂犬

配達夫かまる
石城郡神谷村平ゆう便局配
達員酒井新太郎(三九)は本日
午前九時半、町仲間町辰ノ
口酒店前のポスト前で茶色

肉のさつま焼「佐藤三徳
日用品値段
前二、三〇 家庭講座
「文化と茶道の發展」龜山
宗月

- 正午 時報
- 後〇、〇五 落語「徳川時
代のブルとプロ」春風亭
柳樂
- 後〇、四〇 全國ニュース
河北新報社 ニュース 氣
象通報 告知事項
- 後二、〇〇 講演「街路の
情婦」椽内吉胤
- 後三、四〇 氣象通報
- 後四、〇〇 全國ニュース
河北新報社 ニュース
- 後五、〇〇 講演「工藝雜
話」須藤邦郎
- 後五、四五 今晚番組豫告
後六、〇〇(子供の時間)
(木琴)朝吹英一(マンド

亡夫の事から

兒と共に家出
石城郡内郷村大字宮佐藤み
よ(三九)は去る一月廿七日夫
光男が磐城炭礦坑夫として
稼ぎ中落盤の下敷となり壓
死し六百圓の扶助料を支給
されたがその金の事から亡
夫の兄茨城縣助川町字磐町

無錢男

平署へ告訴さる
宮城縣仙臺市御宮内二八二
生れ住所不定佐川爲保(三九)
は本日午前一時南町五〇飲
食店千代野屋方にて三圓餘
の無錢飲食をして千代野屋
から訴へられた

貸切は

セダン揃ひで!
貸切専門の!
昭和タクシーへ

昭和タクシーへ
電話三四三三



捕物 おぼえ

東京 橋場鮎刺 (米田安藏)

おぼえの十手 (其八)

おぼえは幾らかおぼえを取...



「ナア、お前さんが心配...

「ナア、お前さんが心配...

内科・小兒科・花柳病科 藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町 電話五〇七番

貸切の●●●

御用命はゼヒ

電話三九五番

芹澤自動車商會

タクシー部

貨物運輸部

京都日傘

- 粋なバラソルとスカート
● スマートな中折 それと
● 明朗百プロのYシャツ

モリタヤ洋品店

5丁目 電話353



看護婦急派の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話一〇七番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(舊診療所向)電話一七〇番

大和田醫院

印刷物の御用命

常警日印刷株式會社 電話三六〇番

母ス儀永々病氣中の處藥石其効無く今般死去仕候間此段以紙上御通知に替へ謹告候也

追て本葬の儀は五月三日午後一時播植小路自宅に於て神式に依り執行可致候

嗣子 松崎安
親戚 野崎正敏
友人 森下庄吉

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

チラウム温灸器

約卸治 福島縣平町五ノ廿八 志賀齒科醫院
賣部 福島縣平町白銀町九 産婆 関口悦子
定價表 金拾參圓(藥及特効五週間分付) 金拾圓(藥及特効五週間分付)

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します 往診 呼吸器病ばかりではありません

平町南町六五 川井内科診療所

醫學士 川井重之 女醫 川井安子